



町長 荒木 輝明

## 「町民がしあわせと感じられる町づくり」の実現

# 令和8年度 様似町施政方針

今年度のまちづくりの方針が、3月の町議会定例会で示され、7つの大きな取り組み方針を軸に今年度の町づくりの方向性について荒木町長より表明がされました。

スタートします。産業振興、生活インフラ整備、福祉・医療及び教育の充実など、乗り越えるべき多くの課題がありますが、様似の未来を形づくる重要な道しるべとしてしっかり取り組んでまいります。

本町は、日高管内で最も人口の少ない町ですが、これからも地域の経済発展・福祉向上に尽力し、心から安心して住み続けられる町を目指し、「町民がしあわせと感じられる町づくり」の実現のため、全力で町政を推進してまいります。

昨年9月の町長選挙におきましては、町民のみならず、なさまをはじめ多くのかたがたの力強いご支援と心温まるご厚情をいただき、2期目の再選を果たすことができました。あらためて厚くお礼申し上げますとともに、ここに新年度を迎え、町政の舵取り役として、責務を全うしていく所存です。

今年度は、町の将来を見据えた取り組みを一層進める節目の年でもあります。現在進めている第9次様似町総合計画は、令和8年度から後期の5年間がス

### 推進体制の確立のために

#### 財政運営と人材確保・育成

インフレや経済成長に伴う税収増に過度に期待することなく、ふるさと納税などの自主財源の確保や経済効率化のためのスクラップ&ビルドなどの構造改善を不断に進めるとともに、長期的な見通しに基づいた戦略的な施策推進と財政運営に努めます。また、施策推進の要となる人材の確保と育成については、社会人経験者の積極的採用、個別・集団研修の推進、働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、AIを活用した事務の効率化や行政手続きの検討を進めるなど、まちづくりに必要な施策を着実に展開できる推進体制の維持・強化に努めます。

#### ジオパーク

本町には貴重な地質とそこに育まれてきた自然環境・歴史と文化があり、その資源を教育や観光に活かす、ジオパークによる町づくりを推進の柱の一つとして位置づけています。アポイ岳周辺は日高山脈襟裳十勝国立公園に指定され、ジオパークと国立公園が連携しながら、その資源の保護と活用の取り組みを進めます。



ジオ学習・いきものさがし

### 住みよい環境をつくるために

#### 公営住宅

昨年度見直しを行った公営住宅等長寿命化計画に基づき、将来を見据えた地域特性や住生活を取り巻く現状と課題を踏まえながら、引き続き栄町団地建替事業を進め、良好な居住環境の形成に努めます。

#### 空き家対策

地域おこし協力隊を広く募集し、空き家に関する相談対応の一元化と現状の把握をさらに進め、空き家・空地バンクへの登録及びマッチングを積極的に促し、移住・定住を進めるとともに、空き家等を解体撤去しようとする所有者に対しては、その費用に対する補助を行うことで、住環境の悪化を未然に防止し、安全で安心な地域社会の確保や地域の活性化へつなげます。

#### 水道・下水道事業

水道事業については、中長期的な視点に立った水道施設の更新と財源確保を実現するため、栄町浄水場から配水池までの送水管の一部耐震化工事を行います。下水道については、引き続き終末処理場電気設備更新工事を行うほか、今後予定しているマンホールポンプ改修工事に係る実施設計を行

います。また、事業運営については、施設維持管理費の削減や水道料金・下水道使用料の収納率向上などの経営改善対策に取り組む、将来にわたって安心・安全な水の供給体制を確立するよう努めます。

#### クリーンセンター

施設・設備等の改修整備を計画的に行い、指定管理者の一般社団法人様似町衛生協会と連携し、一般廃棄物の収集・運搬、処理事業の適正な業務体制の充実に努めます。「廃プラスチックごみ」の分別については、実施に向けての課題等を整理し、早急な実現に向けて取り組みを進めます。

### 安全な生活をおくるために

#### 防災対策の整備

今年度は昨年度の避難における課題を踏まえた防災備蓄品のさらなる拡充や自治会等と連携した防災訓練の実施、防災塾などの普及啓発の推進、車両使用を想定した津波避難シミュレー



防災塾「津波が来た時の車両避難を考える」

ションの整備など、いざという時の態勢、行動の整理を進めながら、さらなる町民の防災意識の向上に努めます。

#### 消防庁舎移転築

5月末に完成し6月中旬から運用開始となりますが、災害に強い安心・安全なまちづくりの推進のための防災拠点施設として、また、平常時は町民への防災・救急教育施設としても活用します。

#### 交通安全

交通安全意識の向上を図るため、各種交通安全運動の啓発活動を実施するとともに、運転免許証の返納者への奨励と特典の

### 健康で幸せな生活をおくるために

#### 子育て支援

妊娠時から出産、子育てまでの各種検査、治療費の支援等を継続的に、「出産・子育て応援交付金」の支給を継続するとともに、近隣町や関係機関と連携を図っての子育て短期支援事業や、メール等で専門家に医療等の相談ができる「産婦人科小児科オンラインサービス」が昨年度から開始しており、子育て支援を更に強化します。

#### 地域福祉の充実

利用者や家族の要望や意見を取り入れ、様似町社会福祉協議会や様似福祉会と連携を重視し、物価高騰や人材不足の中、必要な福祉サービスが適切に提供できるように、今後の方向性について、引き続き協議を進めます。

#### 結婚サポート事業

結婚を望む町民の希望をかなえることを目的として、結婚相談所への入金・利用料等の経済的支援を行う「結婚サポート事業」を新たに実施します。

#### 新婚世帯への支援 子育て世帯の負担軽減

新婚世帯の新生活に係る住宅取得や引っ越しなどの経費を支援する「結婚新生活支援事業」、結婚祝い金支給事業」を引き続き実施します。また、町内の児童・生徒が小・中学校、高等学校へ入学する際、地域商品券による入学祝い金「新入学スマイルクーポン」を継続して支給することで、家庭の経済的負担を軽減するとともに、乳幼児から

### 心豊かな人間性を養うために

#### 教育行政の推進

今年度は、教育に関する総合的な施策方針として策定した第3次教育大綱のスタートの年になります。さまざまな教育課題に取り組みとともに、持続可能な社会の創り手を育成するため、本町の実情に即した教育施策を推進します。



中学校地域参観日「ポスター発表」

# 令和8年度 教育行政執行方針

子どもたちが誰一人取り残されることなく、自らの良さや可能性を認識し、多様な人々と協働しながらさまざまな課題を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていく力を育むことは、教育の重要な使命であります。子どもたちが時代の変化に柔軟に対応できる人材へと成長していくことができるよう、学校・家庭・地域が一体となって、本町の教育の一層の充実と発展に取り組んでまいります。



教育長 秋山 寛幸

## 豊かな暮らしを生み出すために

### 農業

経営所得安定対策制度や国が全額補助している新規就農者育成総合対策制度とともに、新規産業就業者等支援金により一次産業を通じた支援の拡充を図るとともに、農業所得の安定と新規就農者への支援を続けます。

### 稲作

環境保全型農業の取り組みを継続して支援し、特別栽培米「アポイ米」の地場産での消費拡大に向けた取り組みとしてスクールランチや、ふるさと納税での活用などを促進します。



小学生稲作体験・稲刈り

### 林業

森林整備計画に基づいた造林や保育、間伐などの森林施策を実施し、豊かな森づくりに取り組むとともに、地球温暖化対策、脱炭素社会に貢献できるよう、森林の適切な管理を図ります。

### 水産業

令和4年から実施されてきた国や道の赤潮対策緊急支援事業が廃止され、現在、別の事業による支援について協議しているところですが、地域の漁業者の声を聴きながら、必要な支援策を強く求めつつ、可能な限りの支援を継続します。また、資源増殖や海洋環境の変化に備え、陸上での養殖可能性についての検討を引き続き進めます。

### 後継者・労働力対策

後継者不足・労働力不足は、年々厳しさを増しています。この解決に向けて、これまでの支援策を継続しながら、新たな労働力確保に向けて行政各部門の横断的取り組みを加速していきます。

### 商工業

物価高騰や燃料の高止まりなどにより非常に厳しい経営環境となつていますが、引き続き、プレミアム付き商品券の発行や歳末大売出しなどの消費喚起事業について支援していくとともに、事業者が安心して事業経営できるように、関連機関と連携する中で適切な対応策を進めます。



HIDAKA TRAIL DAYS

### 観光

国立公園化を契機とした体験プログラムと特産品開発の取り組みやイベントを実施していきます。多彩な観光ニーズに応えていくため、近隣4町での広域連携による観光客の誘致・体験プログラム等の開発を進めます。

## 発展の基盤づくりのために

### 公共交通等の確保

持続可能な公共交通の確保に努めるとともに、町内の路線バスを維持しつつ、高齢社会や交通空白地帯に対応するため、さまに乗合ワゴンの利便性の向上を図るなど、本町に適した交通サービスの導入を進めます。



さまに乗合ワゴン〜でんこう号〜

### 移住・交流の推進

「関係人口」を創出するきっかけづくりとして、都市部のかたに一定期間、町内に滞在し、産業に従事して本町での生活体験を通じて、地域の魅力を体感していただくとともに、地域住民や事業者とのつながりを創出



北海道移住・交流フェア

することを目的とした「ふるさとワーキングホリデー」を新たに実施します。また、SNSやふるさと納税等を活用した情報発信を行うとともに、長期利用者や職業体験などのインターン利用者やターゲットとした移住体験住宅事業、リモートワーク、ワーケーション事業を実施します。あわせて、地域おこし協力隊制度の積極的な活用や、住居・求人情報等の移住に関する情報を一元化し、迅速かつ効果的な相談体制の充実を図り、移住者や関係人口の増加を目指すとともに、町内における住環境に係る諸課題に対し、遊休町有地の利活用と住宅新築に対する補助、空き家の利活用・除却を一体化した「疑似町循環型住替え事業」を実施することで、本町における土地利用と移住・定住を推進します。

## 幼児教育および保育の推進

### 情操教育の充実

デジタルメディア使用の低年齢化や外遊びの機会の減少、ゲーム時間や動画視聴時間の増加、子ども同士の交流機会の減少などにより、幼児の発達に必要な直接体験が不足する傾向も見られることから、乳幼児期の心身のバランスの取れた成長を支えるため、親子のふれあいの大切さを伝えながら、家庭と連携のもと、基本的な生活習慣の確立や挨拶の習慣化、食育・体力づくりについて定着を図り、健康な身体づくりと豊かな心を育む情操教育の充実を図ります。



幼児センターいちご狩り

## 学校教育の推進

### 学力の向上

「全国学力・学習状況調査」及び「標準学力検査」の結果を踏まえ、学力や学習状況を的確に把握・分析し、組織的な授業改善に取り組みます。特に基礎学力の定着に課題の見られる児童生徒への支援を強化するとともに、学校と家庭が連携した家庭学習の習慣化に取り組みます。

## 社会教育の推進

### 芸術・文化活動

昭和41年に6団体10名により結成された「疑似文化協会」が創立60周年を迎え、また、町民の芸術・文化活動の拠点である様似町中央公民館が開館50周年（昭和51年開館）を迎えます。これを記念し、芸術文化や郷土資料等の展覧会、発表会などを周年事業として開催いたします。



札幌交響楽団・演奏会



郷土館企画展「夏休み昆虫展 2025」

## 図書館活動の推進

### 図書館の大規模改修

町立様似図書館は、平成4年の開館から34年が経過することから、施設の長寿命化と機能向上を図るため、大規模改修工事を実施します。主な工事内容としては、老朽化した電気設備、空調設備及び照明設備の更新のほか、現在の利用状況に合わせた閲覧室の一部改修等を予定しており、より多

## スポーツの推進

### 青少年・成人・高齢者スポーツ

くのかたがたに利用していただけるよう、居心地のよい環境を整備します。なお、設備や機械の調達に一定の期間を要することから、工期は2力年を見込んでいます。



図書館まつり「図書館たんけん隊」

青少年スポーツについては、身体を動かすことへの興味・関心を高めるため、幼児期の遊びを通じた運動指導を引き続き実施するとともに、冬季のスキーをはじめとする各種スポーツ教室の開催などを通して、多様なスポーツに触れる機会を提供します。成人スポーツについては、スポーツ団体の運営支援や町民が気軽に参加できる大会等の開催を通じ、継続的にスポーツに取り組める機会の提供に努めます。高齢者スポーツについては、保健福祉課の介護予防事業と連携しながら、身体を動かす楽しさを体感できる機会を提供します。



ヤングシニアスクール